



News Release

2022年6月30日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

「無謀なDIY」が招く危険 ～エアコンの事故～

1. 関東甲信越地方のエアコンの事故

(1) 年度別事故発生件数と被害状況

2017年度から2021年度の間、NITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、エアコンの事故は89件ありました。エアコンの事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年度	2017年度	1	1	1	1	1	2	2	1		1	11
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(1)		(1)	(11)
	2018年度				3	6	5	7				21
	(内数)火災事故				(3)	(5)	(5)	(6)				(19)
	2019年度	1	1	1	2	4	5	5				19
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(1)	(2)	(4)	(5)	(5)				(19)
	2020年度	2			2	3	4	5	1			17
	(内数)火災事故	(2)			(2)	(3)	(4)	(5)	(1)			(17)
2021年度	2	2		5	1	6	5				21	
(内数)火災事故	(2)	(2)		(4)	(1)	(5)	(5)				(19)	
合計	6	4	2	13	15	22	24	2	0	1	89	
(内数)火災事故	(6)	(4)	(2)	(12)	(14)	(21)	(23)	(2)	(0)	(1)	(85)	

安全とあなたの未来を支えます

表 2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計	
被害状況	人的被害	死亡				2						2	
		(内数)火災事故				(2)						(2)	
		重傷											0
		(内数)火災事故											(0)
		軽傷	1					2	1				4
	(内数)火災事故	(1)					(2)	(1)				(4)	
	物的被害	拡大被害	3	3	2	7	7	14	21	1			58
		(内数)火災事故	(3)	(3)	(2)	(7)	(7)	(13)	(21)	(1)			(57)
		製品破損	2	1		6	6	6	2	1		1	25
		(内数)火災事故	(2)	(1)		(5)	(5)	(6)	(1)	(1)		(1)	(22)
被害なし												0	
(内数)火災事故												(0)	
合計		6	4	2	13	15	22	24	2	0	1	89	
(内数)火災事故		(6)	(4)	(2)	(12)	(14)	(21)	(23)	(2)	(0)	(1)	(85)	

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	総計	
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの				2		2	1				5	
		(内数)火災事故				(2)		(2)	(1)				(5)
	B 製品および使い方に問題があったもの												0
		(内数)火災事故											(0)
	C 経年劣化によるもの		1		1			1	1				4
		(内数)火災事故		(1)				(1)	(1)				(3)
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの			1		1	5	3	4	1		1	16
		(内数)火災事故		(1)		(1)	(4)	(3)	(3)	(1)		(1)	(14)
	小計		0	2	0	4	5	6	6	1	0	1	25
	(内数)火災事故		(0)	(2)	(0)	(3)	(4)	(6)	(5)	(1)	(0)	(1)	(22)
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送などに問題があったもの				1	3	3	4				11	
		(内数)火災事故				(1)	(3)	(3)	(4)				(11)
	E 誤使用や不注意によるもの				1			1	1				3
		(内数)火災事故				(1)		(1)	(1)				(3)
	F その他製品に起因しないもの			1				1	2				4
		(内数)火災事故			(1)			(1)	(2)				(4)
小計		0	0	1	2	3	5	7	0	0	0	18	
(内数)火災事故		(0)	(0)	(1)	(2)	(3)	(5)	(7)	(0)	(0)	(0)	(18)	
その他	G 原因不明なもの		3	1	4	6	6	6	1			27	
		(内数)火災事故	(3)		(1)	(4)	(6)	(5)	(6)	(1)			(26)
	H 調査中のもの		3	2		3	1	5	5				19
		(内数)火災事故	(3)	(2)		(3)	(1)	(5)	(5)				(19)
小計		6	2	1	7	7	11	11	1	0	0	46	
(内数)火災事故		(6)	(2)	(1)	(7)	(7)	(10)	(11)	(1)	(0)	(0)	(45)	
合計		6	4	2	13	15	22	24	2	0	1	89	
(内数)火災事故		(6)	(4)	(2)	(12)	(14)	(21)	(23)	(2)	(0)	(1)	(85)	

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

① 配線の途中接続による事故

- ・ 2018年2月、埼玉県、拡大被害

(事故内容)

使用中のエアコン付近から出火し、壁の一部が焼損した。

(事故原因)

使用者の知人が室内機と室外機を接続する配線をスリーブにより途中接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、出火したものと推定される。

なお、据付工事説明書には、「配線は途中接続しない。感電、火災の原因になる。」旨、記載されている。

② エアコン洗浄液の浸入による事故

- ・ 2019年8月、神奈川県、拡大被害

(事故内容)

エアコンを使用中、エアコン及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

エアコンのファンモーターコネクタ一部にエアコン洗浄剤が浸入したため、コネクタ間でトラッキング現象が生じて発熱し、出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「エアコン内部の洗浄は、販売店又はお客様相談窓口にご相談する。使用者自身で内部洗浄を実施すると、故障、水漏れの恐れがある。」旨、記載されている。

③ 可燃性ガス洗浄スプレーの浸入による事故

- ・ 2019年12月、東京都、製品破損

(事故内容)

エアコンを清掃中、エアコンを焼損する火災が発生した。

(事故原因)

使用者がエアコンに可燃性ガスを含む洗浄スプレーを噴射したため、可燃性ガスがエアコン内部に滞留し、静電気等の火花が可燃性ガスに引火して焼損に至ったものと考えられる。

なお、取扱説明書には、「洗浄は自身で実施せず、販売店又は事業者修理相談窓口にご相談する。誤った使用方法で内部洗浄を行うと、発煙、発火する恐れがある。」旨、記載されている。

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：矢代，佐藤，中野

電話：03-3481-1820